

# 尼崎市



尼崎市は、大阪市の西隣にある、人口 45 万人の市です。

大阪から電車で 5 分ほど、とアクセスが良く、工業都市として発展してきました。

古くから、陸路だけでなく、都があった京都への水運の発着点としても発展してきた、交通の要所でもあります。古くから人が住み、弥生時代の遺跡があったりもします。

尼崎といえば、「阪神タイガース」「商店街」「おばちゃん」など、庶民のまち、下町、のイメージが強いと思います。市南部に工場地帯が広がっており、そこで働く人たちが、仕事終わりに立ち飲み屋でお酒を飲み、商店街で買い物をして帰る、という文化です。

市の中部、北部は住宅地としての開発が進んでいます。

皆さんには、尼崎市が工業の集積地として発展してきた加工の技術や、歴史を感じられるような、かつての尼崎が偲ばれるスポットやお店をご紹介しますと思います。

尼崎の周辺には、灘や西宮、伊丹など多くの酒処がありその中心にある尼崎では、「菰樽」という、お酒を容れて出荷する樽の製造が盛んで、今でも日本の菰樽のほとんどが尼崎で作られています。皆さんには、その菰樽を製作する体験をしていただきたいと考えています。

<参考イメージ>



# 尼崎市

尼崎市には、全国に誇る洋菓子店「アンテノール」「ヴィタメール」などを展開する「エーデルワイス」という会社があります。エーデルワイスは工場にミュージアムを併設しており、歴史的なヨーロッパの製菓道具類が約 5000 点展示されています。



また、尼崎にしかないオンリーワンの技術を持った企業をいくつかご紹介します。研磨の技術で古い硬貨もピカピカに。その他、特殊な技術を使って作られた文具や、日本の伝統グッズ「湯たんぽ」（日本で最も製作しているのは尼崎だと言われています）をご紹介します。



# 尼崎市

尼崎の B 級グルメと言えば「尼崎あんかけちゃんぽん」。

元々長崎で良く食べられていたちゃんぽんですが、高度経済成長期に就職で尼崎に出てきた人たちからちゃんぽんの文化が伝わり、そのちゃんぽんに、工場で働く人たちのために、「腹もちが良く冷めにくい」餡をかけたのが始まりだといわれています。



また、昔は尼崎には漁港があり、獲れた魚を練りものにしていました。その流れをくむ「柘千」は創業 150 年を超える老舗。尼崎では、練りものを揚げた「さつまあげ」のことを「てんぷら」と呼びます。



工業都市として発展してきた尼崎の歴史を感じていただけるツアーにしたいと考えております。



# Kansai Tourism Supporters 活動報告

## 「梅田ゆかた祭り 2016」



日時：2015年7月30（土）、7月31（日） 13時～20時

出席：留学生/国籍構成（中国：4名、ロシア：1名、チュニジア：1名、スウェーデン：1名、  
韓国：1名 計8名）

実施場所：グランフロント大阪会場 うめきた広場 茶屋町会場

主催： 梅田ゆかた祭り 2016 実行委員会

梅田地区エリアマネジメント実践連絡会（西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、  
阪神電気鉄道株式会社、一般社団法人グランフロント大阪TMO）、  
大阪市、株式会社カクタス

### ○ スケジュール

- 13：30～ 集合（阪急梅田駅 BIGMAN 前）  
Umeda-I に関するインタビュー調査（阪急栗山さまより）
- 14：00～ 着付け
- 14：30～ 茶屋町会場・本社前・日本酒ロックフェスティバル 参加  
各種イベント体験 ※SNS配信
- 16：00～ 打ち水体験
- 16：45～ うめぐるバスでの移動
- 17：00～ グランフロント大阪会場
- 18：10～ 盆踊り-留学生各自母国語でのアナウンス① @うめきた広場
- 18：35～ 盆踊り-留学生各自母国語でのアナウンス② @うめきた広場  
※SNS配信
- 20：00～ 解散

## ○ 活動報告

### 【阪急梅田駅での Umeda-I への使用インタビュー】

集合場所での待ち時間を利用して、阪急梅田駅に新たに設置された多言語デジタルサイネージ「Umeda-I」を実際に操作し、外国人視点での使い勝手の評価などに協力しました。



### 【体験ブース@茶屋町会場・本社前・日本酒ロックフェスティバル】

盆着付け後慣れない浴衣に身を包みながらも茶屋町会場で行われるヨーヨー釣りやゴスペルの鑑賞等に積極的に参加。MBS で行われていたふたご霊のお化け屋敷や近隣施設でのゲームセンターにも興味を示していた。今回の目的であった SNS 配信に置いては写真スポットも多く、配信材料には困らなかった。



### 【打ち水体験@MBS 前】

次第に、体験ブースは大盛況に。打ち水体験開催時多くの観光客もみられた。





### 【盆踊り体験&各国語アナウンス@うめきた広場】

18時10分～、18時35分～と二度日本語MCあつち後に留学生による英語、中国語、韓国語にて盆踊りの説明についてアナウンス。ざわざわしている会場も留学生のアナウンスが始まると一旦日本人も海外の方も聞き入る様子が見て取れた。盆踊りの説明+個人の自己紹介等については個人に任せるも各々が会場が盛り上がるようなコメントをしてくれた模様。

外国語アナウンスの甲斐も有ってか、早い段階から盆踊りの円の中には様々な人種の方が楽しむ様子を拝見できた。



以上



## 梅田ファンづくり① (インバウンド施策)

## ◆都市活力研究所 留学生によるSNS発信

発信元	参加日	SNS	言語	いいね	リーチ
Kansai Tourism supporters	7月31日	FACEBOOK	英語	24	1434
Kansai Tourism supporters	7月30日	FACEBOOK	英語	8	500
スウェーデン	7月30日	FACEBOOK	英語	69	
中国	7月30日	WEIXIN	中国語・日本語	23	
チュニジア	7月30日	FACEBOOK	英語	15	
中国	7月30日	WEIXIN	中国語	81	
ロシア	7月31日	Instagram	ロシア語	32	
韓国	7月31日	FACEBOOK	韓国語	54	
中国	7月31日	Instagram	日本語	39	

※「いいね」は投稿へのアクション数、「リーチ」は投稿閲覧者数

※リーチ数は投稿者のみしか把握できず、留学生からの投稿リーチ数は不明

## ◆ゆかたde盆踊り 多言語アナウンスの様子



## ◆SNS発信



## 産業観光モデルルート事業（和歌山）

### スケジュール

#### ➤ 一日目 大阪→和歌山→海南→白浜

9：30 グラントフロア大阪出発

11：20 黒潮市場 昼食&マグロの解体ショー

新鮮な海の幸が大集合。マグロの解体ショーでは目の前で生マグロをさばいてくれ、その場でいただくこともできます。和歌山ならではの土産も豊富。

13：15 紀州漆器伝統産業会館うるわし館にて蒔絵体験

室町時代に起源をもつ紀州漆器の代表的技法「蒔絵」の貴重な絵付体験です。伝統工芸士などの親切で丁寧な説明により、初心者の方でも安心して体験できます。出来上がった漆器は土産としてお持ち帰りいただけます。

16：15 白浜 三段壁洞窟

高さ 50mの岩壁が南北 2 kmにわかって続く勇壮な風景。岩壁直下の洞窟に下りることもできます。

17：25 円月島

白浜のシンボルとして親しまれている臨海浦に浮かぶ島。島の中央には円月型の海蝕洞が空いており、そこに沈む夕景の美しさは別格です。

18：10 白浜のホテルにチェックイン

#### ➤ 二日目 白浜→湯浅→大阪

9：00 工芸体験（藍染体験）

紀州が誇る伝統産業であった紀州本藍を使用した染め物体験。

12：00 白浜町内でランチ

14：00 湯浅醤油で醤油蔵の見学

湯浅町は日本の醤油の発祥地。醤油を丹精込めて作っている醸造元の蔵を見学し、見学のあとは絶品の醤油ソフトクリームを楽しんでいただけます。

15：15 湯浅 重要伝統的建造物群保存地区 散策

白壁の土蔵、格子戸や虫籠窓など、醤油醸造の伝統を感じる家並みが残る地域を散策し、日本の伝統と文化を感じてください。

16：15 湯浅出発

19：00 グラントフロア大阪に到着



## 感想レポート

**参加者：ホン**

**国籍：韓国**

### ○行く前までに持っていたイメージ

白浜と串本は有名なので海が綺麗なところだと思っていましたが、遠くて中々行くことは難しいと思っていました。

### ○今回、最も印象に残った点

まきえと藍染の二つの体験を通じて、観光地を目でみるだけではなく、肌から日本の文化を感じられる機会が多いことが印象的でした。

### ○食事について

海がきれいなところなので、やはり海鮮がとても美味しかったです。マグロ解体ショーをみてから食べたお寿司は絶品でした。また、ホテルで食べた懐石料理も日本らしさを感じられる素敵な彩とプレATINGでした。

### ○案内表示・地図・サイン

韓国語が書いてあるところもありましたが、全体的には英語と中国語が多かったです。

### ○どんな旅行者に向いているか

始めて日本に来られる旅行者は東京に行くことが多く、二回目は大阪や京都、北海道、沖縄などが多いです。そのため、地方まで行こうと思う旅行者は三回以上来られる方々だと思います。

日本に三回以上来る旅行者は日本が好きな方で、都心の観光とはまた違う、ゆったりしながら日本の文化を体験したいと思う人も多いと思います。

### ○自国の人に特にアピールできる点

韓国でも醤油は日常でよく使われるが、その製作方法を知っている人は少ないと思います。親近感のある醤油の製作所見学と昔ながらの道並みはアピールできると思います。また、見学最後に食べる醤油ソフトクリームもアピールポイントです！

### ○その他

白浜ビーチを眺めながら温泉を楽しめるホテルの露天風呂はとても素敵でした。また、足湯が沢山あったことも印象的でした。

**参加者：モニカ**

**国籍：インドネシア**

○行く前までに持っていたイメージ

関空の近くにある山が多いところ。魚が多くとれるところ。

○今回、最も印象に残った点

醤油の発明地でもあり、長い歴史を持つところ。醤油アイスクリームおいしかったので醤油の印象が最も残っている。

○食事について

黒潮市場での食事は外国に人気の寿司が食べられ、その他の日本料理も食べられるのは外国からの旅行者にとってはいろいろ経験できると思う。また、新鮮な魚が食べられるのもいいポイントだと思う。ホテルでの料理は和食なので、外国人旅行者にはよいと思うが日本料理の味に合わない外国人旅行者も多いと思うので、和食以外も選択できるバイキングもよいと思う。しかし昼ご飯の時間は短すぎてもう少しゆっくりしながら食べる、食べ物を楽しむことが好きな旅行者も多いと思う。

○案内表示・地図・サイン

和歌山のガイドブック（Wakayama Walk Around）が詳しく書かれており、わかりやすく伝わると思う。

○どんな旅行者に向いているか

何回も日本に来たことある旅行者や日本の都会ではないところを見たいひと。

○自国の人に特にアピールできる点

インドネシア人は大体食べ物が好きなので、おいしい食べ放題寿司が食べられるとか新鮮な魚の寿司が食べられる、ユニークな醤油ソフトクリームがある点。

また、景色がきれいなところに写真を撮るのも若者が好きで、トレンドになるので、きれいなお店が多いのもアピールできると思う。

○その他

日本の文化を体験できるのはいい経験になると思う。即時に出来上がるものは海外の旅行者にとっては待たずに帰れるのはいい。しかし2日目の藍染めの場所が狭いので外国人旅行者はほぼ家族やツアーで行くのもっと広い場所が必要になるかもしれない。また、行った場所が駅から離れたりするので、運転できない旅行者にとっては難しいと思う。

**参加者：法 ケイ**

**国籍：中国**

**○行く前までに持っていたイメージ**

高野山と似ていて、静かで、お寺がいっぱいのイメージでした。

**○今回、もっとも印象に残った点**

①醤油アイスクリームすごくおいしかったです！醤油の製造方法を知り、さらに自ら体験できるのがすごく貴重な経験だなあと思いました。

②ホテルの露天風呂がすごくよかったです。さざ波を聞きながら温泉に入るのが初めての体験でした。

**○食事について**

新鮮なマグロはやはり違うなと思いました。

二日目のバイキングのコスパがよくて想像超えです。

**○案内表示・地図・サイン**

中国人観光客が多いため、中国語のガイドブックや地図などはほかの地域よりも完備していると思います。ただし、体験するところでは、外国人向けのサービスはどうなっているのかはちょっと分かりません。

**○どんな旅行者に向いているか**

ディープな日本を見てみたい旅行者に向いていると思います。特に個性を求めている若者たちにお勧めしたいと思います。

**○自国の人に時にアピールできる点**

和歌山は自然に恵まれ、まだ多くの観光客に知られていないところだと思いますので、すごくリラックスできる場所だと思います。都会に飽きている、または日常のストレスを発散したい人にとってはベストチョイスだと思います。

**○その他**

やはり交通について若干不便を感じています。中国の運転免許も使えるようになれば、観光客は大幅増えるのではないかと思います。また、その時、ナビの多言語対応について考える必要もあると思います。



## 写真

9.28 (一日目)



黒潮市場でたくさんの海外観光客と一緒に、初めてのマグロ解体ショーを見ました。迫力がすごく大きかったです。そのあと、生マグロの寿司をいただきました。すごく柔らかくておいしかったです！



海南市役所に訪問しました。市長の神出さんが海南市の人口問題・伝統工芸などについて、すごく親切に話してくれました。



うるわしい館で紀州漆器の蒔絵を体験しました。思ったより細かく、集中力が求められる工芸で、みなさん頑張りましたね！



一日目の最後は、円月島と千畳敷の絶景を堪能しました。天気が曇っていて夕日が見られなかったのはちょっと残念でしたが、久しぶりに海を見て、みなさんはかなりのハイテンションでした！



## 9.29 (二日目)



紀州が誇る伝統産業であった藍染めを挑戦しました。想像力と集中力の両方が必要な工芸にみなさんはかなり苦戦しました。完成するまで作品の出来上がりは全く予測できないため、ドキドキしながら作業をしました。なかなかいい経験になりました。



オリジナリティにあふれる藍染作品ができました。すごく満足げな笑顔でした。



湯浅醤油で醤油蔵の見学をしました。醤油の原料や種類についてたくさん勉強しました。糶入れ体験もできましたので、楽しかったです。



今回のモデルコースで、人気ナンバーワンの醤油アイスでした。香ばしい醤油と濃厚なアイスとの組み合わせは想像超えのおいしさでした。



「重要伝統的建造物群保存地区」に選定された湯浅町を散策しました。案内人のユーモアにあふれた説明を聞きながら、日本の伝統文化を堪能しました。